



第1回「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」官民連携調整会議

2025年8月18日

アジェンダ

1.	今年度事業の背景・目的の共有	P.2
2.	各事業の実施方針の共有	P.11
3.	各分科会のスケジュール・メンバーの共有	P.36

1.今年度事業の背景・目的の共有

若者流出が課題である中、スポーツライミングを一つのコンテンツとしたまちの活性化・若者の誘因を目指し、昨年度に「スポーツライミングのまち龍ヶ崎基本構想」を策定しました

本市の目指す姿・課題

龍ヶ崎市が目指す姿

- ✓ 2022年12月に、最上位計画「龍ヶ崎みらい創造ビジョン for2030」を策定し、本市のあるべき姿として「**Creation -ともに創るまち・龍ヶ崎-**」を掲げています
- ✓ その中で、本市が抱える課題への的確な対応や、「住み続けたいまち」の構築に向けて、特に重要となる施策を「未来」「魅力」「幸せ」の3つのリーディングプロジェクトとして位置付け、「若者世代の定住促進」や「誰もが楽しめるスポーツ社会の実現」などの施策について、重点的かつ優先的に取組を進めています

課題

- ✓ 人口減少、特に若者の流出が顕著な状況となっており、**大学卒業や就職を機に、特に20代の流出が大きく、直近の令和5年度では、年間200人以上の転出超過**の状況となっています
- ✓ 市街地における人口の空洞化や空地・空家の発生といった「**都市のスポンジ化**」が懸念されており、**人口減少社会に対応した都市構造への転換**が求められています

人口減少社会を受けての若者を呼び込む本市の取り組み

若者を呼び込む取り組み

- ✓ 若者や子育て世代を対象とした移住支援金の交付など**経済的な支援**に取り組んでいます
- ✓ 森林公園のリニューアルや保健福祉棟多世代交流センターの整備など**若者に響く魅力アップ**が進んでいます
- ✓ プロスポーツチームや流通経済大学との連携など、トップアスリートを含めた**高いレベルのスポーツに触れる環境**が整っています

オリンピック、トップクライマーが身近に存在する恵まれた環境が本市にはあります。

そこで、“スポーツライミング”を一つのコンテンツとしてまちを活性化させ、若者を誘引することを目指します

実現に向け、令和6年度に「スポーツライミングのまち龍ヶ崎基本構想」を策定

基本構想は、本市の現状や市場動向の調査・分析結果から導出した目指す姿の素案を 基に、審議会やヒアリング等を通して策定しています

基本構想策定アプローチ

基本構想作成のポイント

- 本市の現状や市場動向の調査結果を基に、スポーツライミングのまちとして目指す姿の素案を作成し、**関係者の想いや実現性に関するご意見を踏まえた精緻化を行う**ことで、基本構想を作成しました

Step1 : プレ調査・分析

基本構想策定に向けて、
本市の現状や
市場動向をデスクトップ調査

龍ヶ崎市における現状把握

政策・方針

市内資源

イベント・催し

スポーツライミング動向調査

市場規模、成長率

トレンド、先進事例

近隣エリア事例

Step2 : 素案立案

基本構想として、
ビジョン・コンセプト・
テーマ・アクションの素案を整理

基本構想（素案） ※事務局が整理したもの

ビジョン

コンセプト

テーマ

アクション

Step3 : 素案検証・精緻化

審議会等と有識者ヒアリング
を通して、目指す姿の素案を
検証・精緻化し、審議会で承認

会議での議論や関係機関との 協議・調整、追加調査

審議会①

ワークショップ

有識者ヒアリング

審議会②

審議会③

アンケート

Step4 : 原案作成

検証結果を踏まえて、
基本構想の原案を作成

基本構想策定

ビジョン

コンセプト

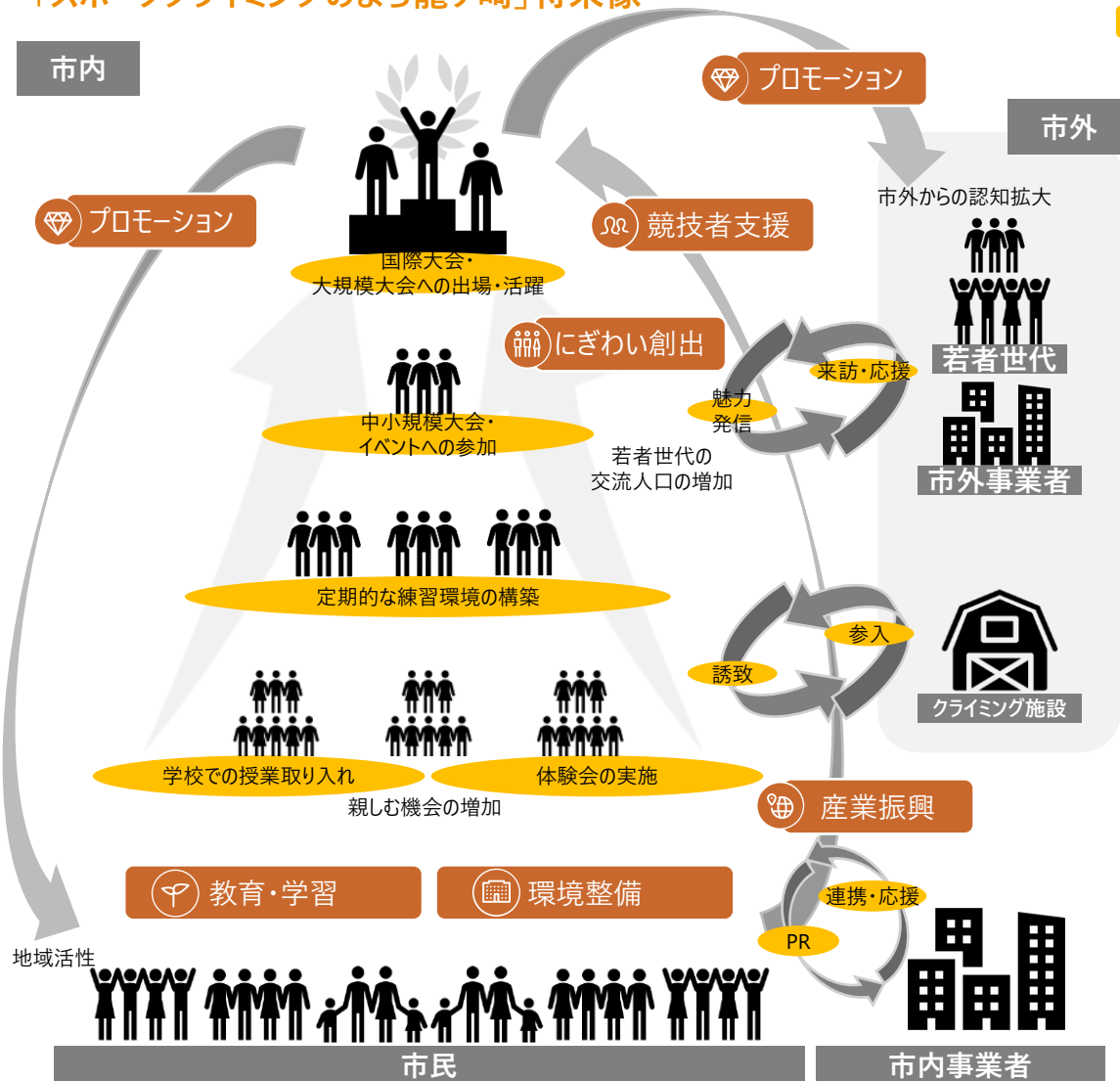
テーマ

アクション

基本構想
策定

将来的には、市民がスポーツライミングに親しみを持ち、選手の活躍や特徴のある取組により、地域活性化や認知度向上、交流人口増加に繋がる好循環を実現します

「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」将来像



ビジョン

スポーツライミングが地域の魅力となり、誇りと活力にあふれるまち龍ヶ崎へ

4つのコンセプト

① スポーツライミングのトップ選手の活躍が地域を元気にする

トップ選手の存在は夢と希望を与え、その活躍は一体感や誇りを生み出す力を持っています。そのため、トップ選手・次世代クライマーを応援する環境と、選手も応え、積極的に地元貢献する好循環を目指します。

② スポーツライミングのまちとして知られ、市外から人が訪れる

選手の活躍や特徴あるイベント等を通して「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」が市内外から認知され、若者世代を中心とした交流人口の増加や、自発的に魅力が発信される取り組みを推進します。

③ スポーツライミングの次世代への挑戦を支える環境がある

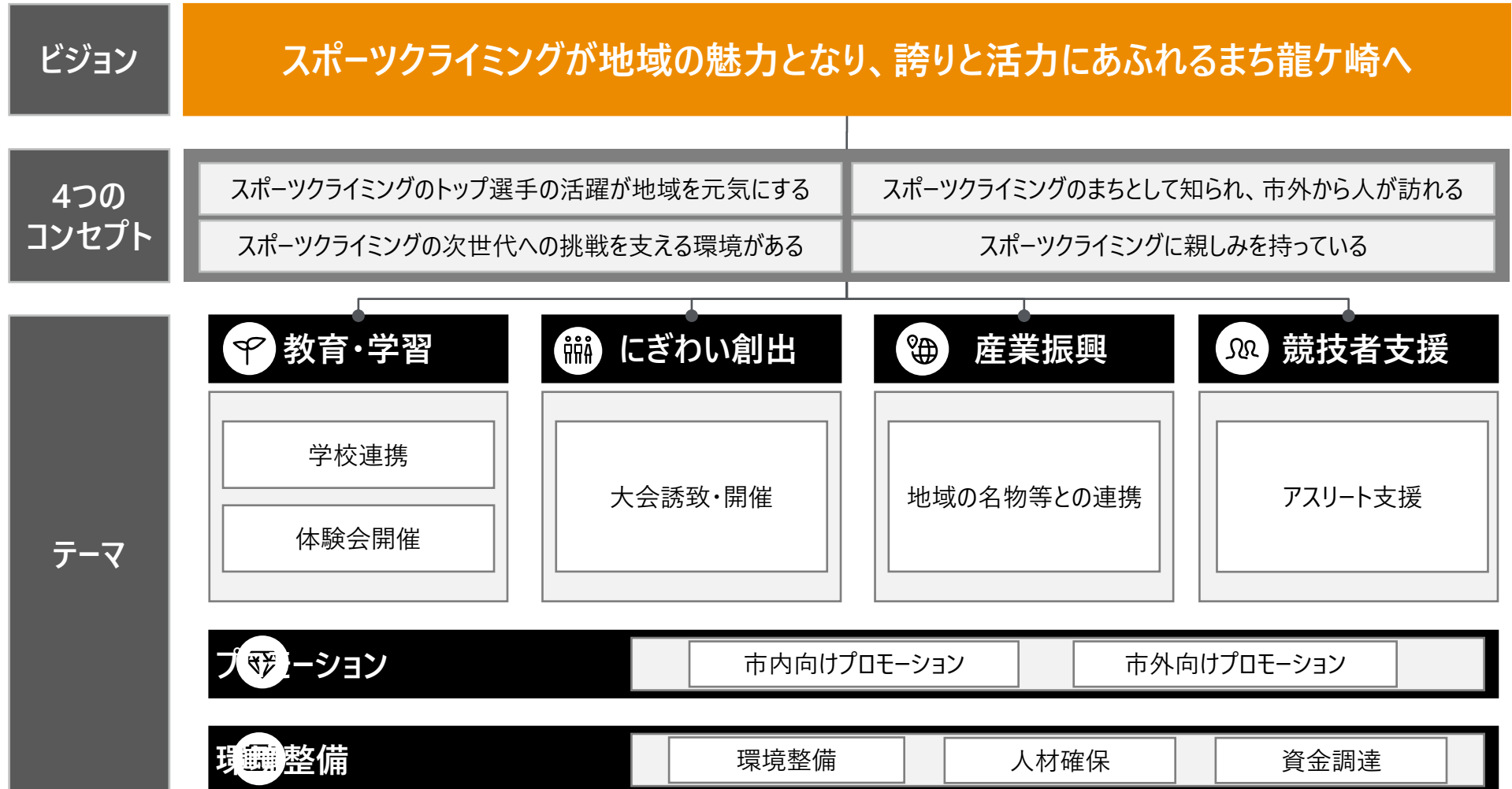
意欲の高い次世代を担う子どもたちなどの挑戦を支える環境づくりに努めます。

④ スポーツライミングに親しみを持っている

幅広い層の市民が体験や応援を通してスポーツライミングの魅力に触れ、親しみを感じる機会を創出します。

基本構想は、「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」の実現に向けたビジョン、コンセプト、テーマに紐づくアクションで構成されています

基本構想の全体像



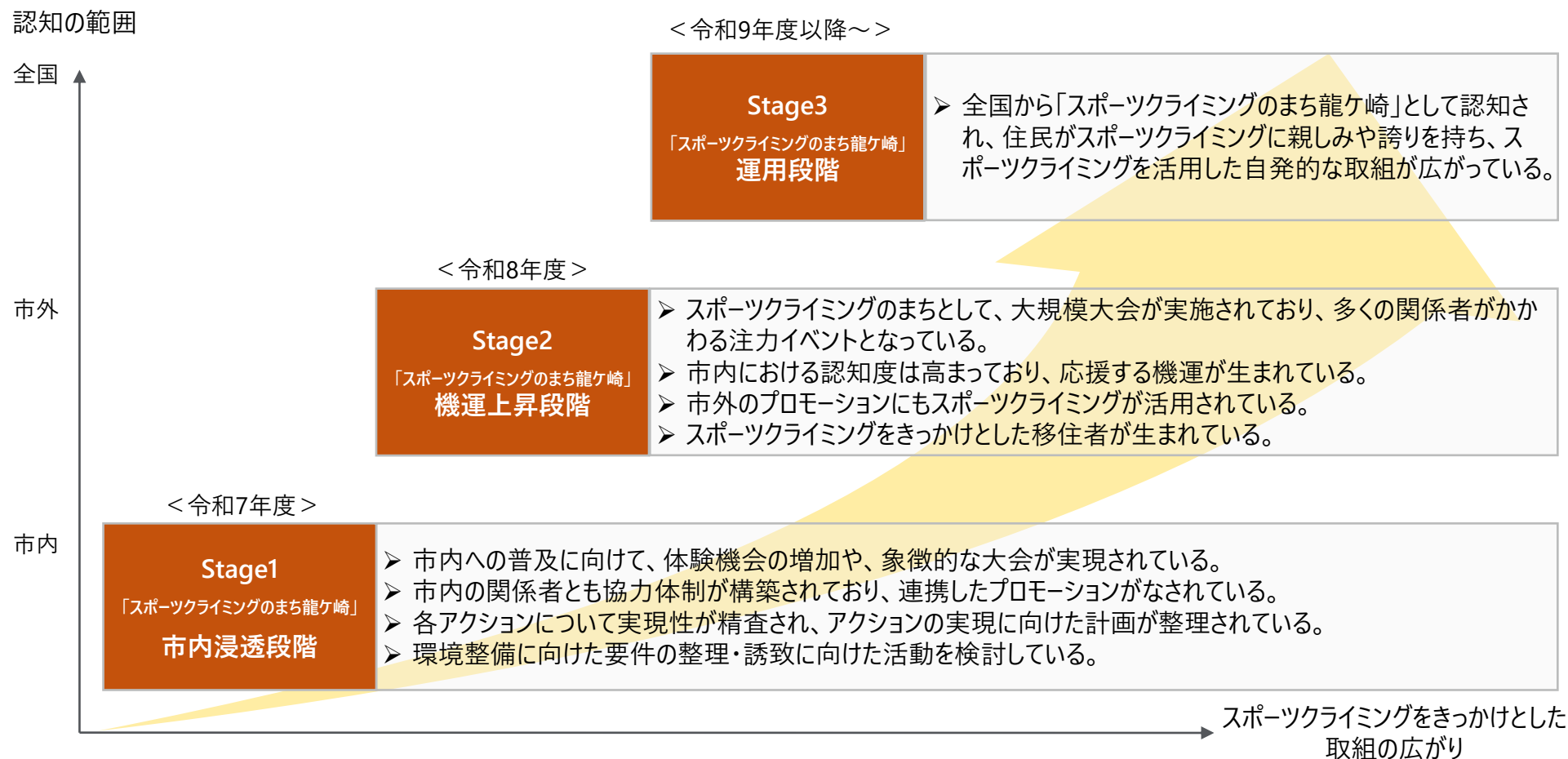
スポーツライミングのまちを推進する上で展開される施策は10のアクションとして整理し、6つの事業テーマに分類されます

事業テーマに紐づくアクション

テーマ	アクション		概要	想定実施時期
①教育・学習	1	学校連携	教育機関等におけるスポーツライミングの体験・学習の機会を創出します。(授業導入・キャリア教育・ウォール設置・定期的な練習会等)	令和7年度～
	2	体験会開催	幅広い年代が集まる市内のイベントやにぎわいの場と連携し、スポーツライミング体験会を開催します。	令和7年度～
②にぎわい創出	3	大会の誘致・開催	大規模大会（World Cup、JAPAN CUP等）や市民が出場できる大会等の誘致・開催や、スポーツライミングと親和性の高いコンテンツとのかけ合わせイベントを行います。	令和6年度～
③産業振興	4	地域の名物等と連携	にぎわいイベント等を活用した地域の名産品等のプロモーションやスポーツライミングに関連した商品開発を促進します。	令和7年度～
④プロモーション	5	市内向けプロモーション	スポーツライミング推進のシンボルとして、市内活動やイベント、情報発信等に活用可能なコンテンツを作成します。	令和7年度～
	6	市外向けプロモーション	「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」と市の魅力を組み合わせたコンテンツを作成し広く発信します。	令和8年度～
⑤競技者支援	7	アスリート支援	トップ選手や次世代アスリートを対象とした資金・PR・就業等の援助等により、まちづくりにおける連携・協力意向を醸成します。また、市民とアスリートの交流機会を創出します。	令和8年度～
⑥環境整備	8	スポーツライミング環境整備	「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」に必要な環境整備の実現性を検討します。また、本市におけるスポーツライミング競技団体の組織化を目指します。	令和7年度～
	9	人材確保	国の制度等を活用し、「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」の持続的な推進に求められる人材を確保します。	令和8年度～
	10	資金調達	「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」の持続可能な事業運営に向けた財源確保手法を整理します。	令和7年度～

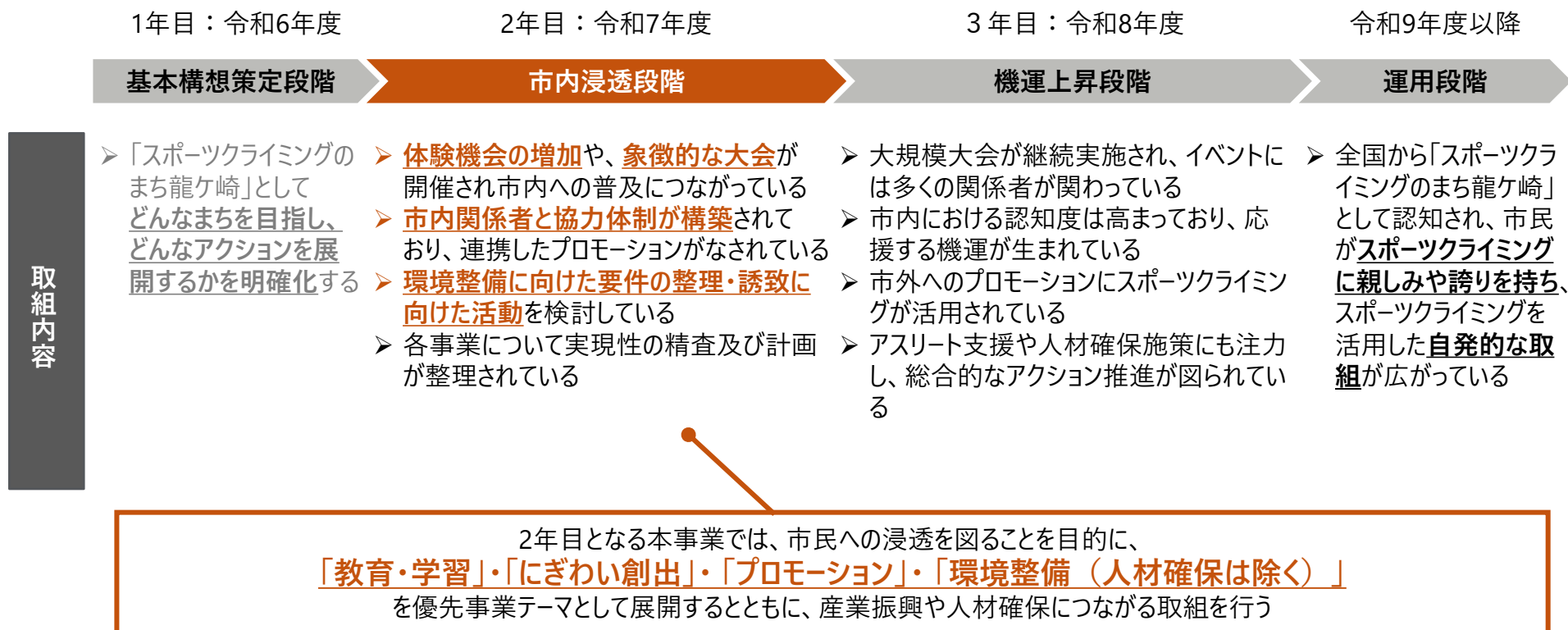
「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」の実現は、スポーツライミングに親しむ環境の整備、選手等を応援する機運の醸成、大会等の開催による交流人口増加の3段階で取り組みます

「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」実現に向けた今後の展望



市内浸透段階である今年度では、「教育・学習」・「にぎわい創出」・「プロモーション」・「環境整備（人材確保は除く）」を優先事業テーマとして展開します

今年度事業の位置づけ



「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」の実現に向けた事業推進にあたり、全体方針を共有する「官民連携調整会議」と各事業の具体案を検討する「分科会」を設置します

官民連携調整会議／分科会の位置付け

本日はこちら

官民連携調整会議	
事業全体における検討や共有を通して 事業間の連携・調整を図る	
	
目的	事業間の連携、事業全体方針の 合意・調整
開催頻度	3回
想定議論 事項	✓ 各事業の検討状況報告 ✓ プロモーション・イベントに関する 事業の方針検討・合意 ✓ 次年度以降の事業の方向性 協議 等
参加者	全委員

官民連携調整会議で
決めた方針を基に
実現に向けた具体策を検討

具体部分まで検討しつつ
合意形成できるサイクルを設計

分科会で決めた具体案を
官民連携調整会議で共有し、
横断的な連携等を打診

分科会		
各事業テーマへの関連性が高い官民連携調整会議委員を集め 各事業の実現に向けた具体施策・手法を議論		
		 にぎわい創出
目的	具体案の検討を経て、 参加者で連携し 実行まで推進する	本事業の実現に向けた 整備の方向性を検討する
開催頻度	2か月に1～2回程度*1	随時
想定議論 事項	✓ 実施コンテンツの検討 ✓ 実施場所・時期の調整 等	✓ 関係者の洗い出し ✓ 課題のつぶし込み ✓ 事業計画・スケジュール の作成 等
参加者	各事業テーマに関連する委員又はその関係者	

*1参加者がおおむね同一のため、併催を想定

2.各事業の実施方針の共有

「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」の実現に向けて必要な10のアクションについて、 今年度は「7 アスリート支援」以外の9アクションが取組対象です

アクションごとのロードマップ

テーマ	アクション	令和7年度	令和8年度	令和9年度以降
①教育・学習	1 学校連携	連携協議・調整	一部連携	連携拡充
	2 体験会開催	企画・検討	体験会開催	体験会(開催数・年代の拡充)
②にぎわい創出	3 大会の誘致・開催	誘致	企画・開催	企画・開催
③産業振興	4 地域の名物等と連携		大会との連携	大会との連携
			制度・連携検討	連携・制度運用
④プロモーション	5 市内向けプロモーション	方針検討	コンテンツ作成・発信	
	6 市外向けプロモーション	方針検討	コンテンツ作成・発信	
⑤競技者支援	7 アスリート支援		方針検討	制度運用
⑥環境整備	8 スポーツライミング環境整備	施設・拠点方針検討	検討結果に応じて実施	
	9 人材確保		人材要件の検討・募集	採用
	10 資金調達	制度検討	制度運用	
			企業版ふるさと納税確保	

凡例： 検討・企画 実施

教育機関等と連携してスポーツライミングの体験・学びの機会を創出するとともに、意欲の高い子どもが練習できる環境づくりに取り組みます

アクション【1】学校連携

施策概要	教育機関等におけるスポーツライミングの体験・学習の機会を創出します。(授業導入・キャリア教育・ウォール設置・定期的な練習会等)	施策イメージ	
目的	スポーツライミングの普及促進を図るとともに、多様なスポーツ体験の機会を提供します。また、意欲の高い子どもの活動機会の確保に取り組みます。	■ 教育機関や就学前教育・保育施設等と連携し、子どもたちがスポーツライミングに触れることができる機会の創出を図ります。 ■ 意欲の高い子どもが定期的に練習できる環境を整備します。 <実施内容案> 教育機関等と①②の実現の可能性について検討し、目的の達成及び子どもの体力向上や健全な成長につながる仕組みや環境を設計します。 ① 授業・放課後等でのスポーツライミングの体験・学習機会の創出 ② 定期的に練習が可能な機会や制度(地域クラブ活動化)等の確立	
関係者と役割	・ 龍ヶ崎市 教育機関等との連携施策検討・調整 ・ 教育委員会・小中学校 年間を通じた体験・学習機会の設計及び体験場所の検討 ・ スポーツライミング関係団体等 学校での体験会・練習会の実施、キャリア教育等の講師 ・ 指定管理者 たつのこアリーナでの体験会受入	①スポーツライミング体験・学習が可能な機会・場所の創出  体育の授業 での体験 校内での ウォール設置 キャリア教育 の授業 ②定期的に練習可能な機会の創出  場所 の確保 実行体制 スキームの 検討 指導人員 の確保	
令和7年度以降 取り組む内容	・ 教育機関におけるスポーツライミング体験やキャリア教育の授業等への機会創出 ・ スポーツライミング体験場所の確保に向けた検討(ハード設置/アリーナ訪問) ・ 体験指導人材・キャリア教育人材の確保 ・ 定期的に練習が可能となる場所の検討 ・ 施設保有自治体や民間ジムとの連携検討	収益・コスト ・ コスト：体験会開催費、指導者・キャリア教育講師等費	

幅広い年代がスポーツライミングを身近に感じ、関心を高める機会を創出するため、イベント等と連携し、体験会を実施します

アクション【2】体験会開催

施策概要	幅広い年代が集まる市内のイベントやにぎわいの場と連携し、スポーツライミング体験会を開催します。
目的	スポーツライミングを身近に感じ、関心を高める機会として体験会を開催します。また、幅広い世代の交流機会につなげます。
関係者と役割	・ 龍ヶ崎市 連携候補イベントの整理・調整 ・ 商工会・観光物産協会 連携候補イベントの助言・連携 ・ スポーツライミング関係団体等 体験会ブースの企画・運営 ・ イベント実行団体・場所提供事業者 体験会場所の各種調整
令和7年度以降 取り組む内容	・ 体験会の開催が可能な既存イベントや場所の整理 ・ 体験会実施に向けた関係者との連携・調整 ・ 既存イベントと連携した体験会の開催

施策イメージ

■ 市民を対象とし、市内集客施設・スペース等で体験会を開催します。

< 連携施設・スペース（案） >

- ・ たつのこアリーナ
- ・ にぎわい広場
- ・ 流通経済大学
- ・ 商業施設
- ・ 森林公園
- ・ 龍ヶ岡公園



■ 市内外から人が集まる大規模イベントと連携したスポーツライミングの体験会を開催します。

< 連携イベント（案） >

- ・ いがっぺ市
- ・ 桜まつり
- ・ まいんバザール
- ・ たつのこマルシェ



収益・コスト

- ・ 収益：体験会での物販売り上げ（出展有の場合）
- ・ コスト：体験会開催の出展費、その他設備費・人件費

教育・学習事業においては、スポーツライミングに親しむ人の増加に向けた体験会を開催し、次年度以降の学校との連携によるスポーツライミング施策の計画策定を実施します

学校連携・体験会開催概要	1.学校連携	2.体験会	3.大会開催	4.地域連携	5.市内PR	6.市外PR	8.環境整備	9.人材確保	10.資金調達
--------------	--------	-------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	---------

目的

①学校連携施策立案

②体験会開催

■ スポーツライミングに興味を持った人が定期的に練習ができるような場所と機会を設けるため、ハード・ソフト両面での検討を進め、関係者間の調整及び次年度以降でのスタートを見据えた計画を策定する。

■ 子どもから大人まで幅広い世代にスポーツライミングを体験いただき、親しみを持つ人を増やす。

■ スポーツライミングの体験会開催を定型化し、各所で体験会が開催されるような機運を醸成する。

① 検討体制

分科会にて意見交換・調整

学校側との連携・調整

環境面の連携・調整

教育委員会

野口氏

施設関係者

施策案検討

8月

・ 学校連携施策案（素案）の作成

・ 分科会にて素案の検証を実施

課題確認計画

9月～12月

・ 施策案を踏まえ、26年4月以降の実施に向けた実施計画(案)を作成

・ 分科会にて計画の実行にあたっての課題整理や調整を実施

計画最終化

1月～3月

・ 計画の最終化を行う

・ 課題に対する対応を行う

体験会企画

8月

・ 体験会開催概要を企画

・ 分科会にて開催概要の合意

体験会実施

11月

※追加枠としてコンテンツを検討中
例) 11/8,9でのサブアリーナ活用等

体験会実施

2月～3月

① 学校と連携した体験会

・ 日本代表選手による大会様式のウォールを活用した体験会の開催

② 大規模大会を活用したウォールの無料開放

・ 大規模大会のウォールを一般向けに開放

改善・定型化

・ 各ステークホルダーによる、体験会開催ニーズに対応できるよう、体験会で必要なアセットをHPで公開・問い合わせ対応を実施

学校連携では、スポーツライミングに興味を持った子どもの練習環境構築に向けたハード・ソフト両面で検討を進め、関係者間の合意形成及び次年度以降の計画を策定します

学校連携方針

1.学校連携

2.体験会

3.大会開催

4.地域連携

5.市内PR

6.市外PR

8.環境整備

9.人材確保

10.資金調達

実施施策案

■ 基本構想を踏まえ実施施策案について分科会にて検討を進めます

①授業・放課後等でのスポーツライミングの体験・学習機会の創出

学校と連携しスポーツライミングに親しむ機会を増加させる

- 授業でのスポーツライミング体験の導入
- 学校内へのウォール設置
※一部学校へは肋木を活用した取り組みを開始予定
- キャリア教育授業へのスポーツライミングの活用

②定期的に練習が可能な機会や制度(地域クラブ活動化)等の確立

施策を通して興味を持った人が、継続的に練習し将来的な選手を目指すことができる環境の構築を目指す

- 練習場所の確保
- 実行体制スキームの検討
- 指導人員の確保

“いつ”・“どこで”・“誰が”・“何を”行っていくのか検討する

課題への対応方針・実施計画のとりまとめ

分科会の意見や想定される課題と対応方針を踏まえ、
目的・主体・場所・時期・実施内容を整理した計画案を策定する

体験会では、本事業に親しみを持つ市民を増やすことを目的に、多様な世代がスポーツクライミングに触れる機会を設けます

体験会開催方針

1.学校連携

2.体験会

3.大会開催

4.地域連携

5.市内PR

6.市外PR

8.環境整備

9.人材確保

10.資金調達

① 学校と連携した子ども向け体験会の開催

対象

- 龍ヶ崎市内の未就学児・小・中学生
- 一般

開催時期

- 2026年2月～3月
※大規模大会開催時期に合わせて実施

場所

- 大会会場特設ウォール(ニューライフアリーナ)
または、仮設ウォール



募集方法

- 学校連携分科会で調整を図り、各学校から参加者を募集
- 一般からも参加を募集

開催の工夫

- 長期間・複数回にわたっての体験会を実施する想定
- 学校と連携を図り意向に応じた生徒の体験受け入れを想定
- 日本代表選手に協力を依頼し、体験会でのデモンストレーションや直接指導を通して、“夢を持ち挑戦することの大切さ”を直接伝達
- 大規模大会に合わせて体験会を開催することで、大会前後の関心獲得を図る

② 大規模大会を活用したウォールの無料開放

- 未就学児・小・中学生・高校生・一般

- 2025年11月、2026年2月～3月
※2、3月は大規模大会開催時期と合わせて実施

- 大会会場特設ウォール(ニューライフアリーナ)等



- 大会チラシ・HP・各種SNSでの告知
- 大会期間中のMC等からの告知

- こどもから大人まで幅広く対応できるよう、ウォールを調整予定

「スポーツクライミングのまち龍ヶ崎」を象徴する大会を誘致・開催し、交流人口の拡大と地域活性化を図ります

アクション【3】大会の誘致・開催

施策概要	大規模大会（World Cup、JAPAN CUP等）や市民が出場できる大会等の誘致・開催や、スポーツクライミングと親和性の高いコンテンツとのかけ合わせイベントを行います。
目的	「スポーツクライミングのまち龍ヶ崎」として象徴的なにぎわいイベントの開催等により交流人口の拡大と地域経済の活性化及び関心度を高めます。
関係者と役割	- 龍ヶ崎市 大会コンセプトの検討、大会誘致・開催取りまとめ・関係者調整、市内機運の醸成、ボランティアの確保 - 商工会・観光物産協会 事業者との連携、協力 - イベント事業者・スポーツクライミング関係団体等 大会誘致、開催運営、選手の募集 - 近隣自治体 大会等開催にかかるプロモーション連携
令和7年度以降取り組む内容	- 大会開催に向けたコンセプト設計 - 大会誘致費用の精査及び開催実現に向けた資金調達 - 誘致の実現に向けた競技団体等との調整 - 会場及び体制の整備・構築 - 市内にぎわいイベントとの連携・調整
施策イメージ	
■ 「スポーツクライミングのまち龍ヶ崎」を象徴する市内外から参加・観戦されるような、トップ選手の集まる大会を誘致・開催します。 < 誘致大会例 > - Japan Cup(主催：日本山岳・スポーツクライミング協会) 国内最高峰の大会。日本のトップ選手が集結 - World Cup(主催：国際スポーツクライミング連盟) 世界最高峰の大会。世界中からトップ選手が集結 ■ 市民も競技者として参画可能な大会・イベントを開催します。 (例：ユース大会、誰もが参加できる市民大会等) ■ 市内の既存にぎわいイベントとの告知連携や、フードやファッション、音楽等を活用したフェス等、にぎわいづくりにより無関心層に向けた取組を推進します。 (例：いがっぺ市・まいんバザール・たつこのマルシェ、つくばね祭など)	
収益・コスト	- 収益：参加費・協賛費 - コスト：大会誘致・開催費



昨年度に続いてAKIYO'S DREAM with RYUGASAKIを開催し、 「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」の市内への浸透と若者世代の呼び込みを図ります

賑わい創出事業の進め方

1.学校連携

2.体験会

3.大会開催

4.地域連携

5.市内PR

6.市外PR

8.環境整備

9.人材確保

10.資金調達

R6年度※実施済み

R7年度

R8年度以降

事業の
位置付け

「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」の
基本構想策定

市内外へのブランディング及び
優先度の高いアクションの展開

市外へのブランディング強化及び
各アクションの展開

本
アクションの
位置付け

「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」に
期待感の持てるイベント実施

- 市外競技者からの“スポーツライミングのまち”としての認知獲得
- スポーツライミング無関心層を含む市民の本事業に対する機運醸成
- 次年度以降の大規模大会実現に向けた実績と競技団体との関係性形成

市内へのスポーツライミングの浸透と、
市外からの若者来訪に資するイベントの実施

- 国内競技者からの“スポーツライミングのまち”としての認知確立、及び市外からの若者世代の来訪者獲得
- 市民の体験意欲／練習意欲の醸成、及び市内事業者の連携意欲醸成
- 継続的に大規模大会を開催するための財源確保に向けた座組の検討・構築

スポーツライミング界における
象徴的なイベント実施

- 海外競技者からの“スポーツライミングのまち”としての認知獲得
- 市民のシビックプライド醸成
- 市内事業者との連携事業のPR機会
- 継続的に大規模大会を開催するための体制・財源確立

各
年度における
ポイント

国内選手対象のユース大会開催

- 野口氏・檜崎選手を始めとした国内トップ選手の起用
- 地元食材を活かしたキッチンカー出店
- 策定した基本構想に関する発信ができるチラシの配布

AKIYO'S DREAM with RYUGASAKI
と同規模の大会の誘致・開催

- 日本代表選手による体験会の併催
- チラシやバナー等の製作・販売・設置
- 若者層の誘客に向けたコンテンツ(音楽・キャラクター等)の活用
- 「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」の周知
- 地元食材を活かしたキッチンカー出店

国内大規模大会や国際大会の
誘致・開催

- 地元食材を活かしたキッチンカー出店
- 特別グッズの製作・販売
- 無関心層の誘客に向けたコンテンツ(音楽・ファッション等)実施
- 体験会の併催
- 市内観光拠点との連携による周遊促進

※上記は全て現時点想定案

昨年度に引き続いて開催することで市内へのスポーツクライミングの浸透を図りつつ、若者層の誘客に向けたコンテンツを用意し、市外からの若者世代の来訪者獲得を目指します

AKIYO'S DREAM with RYUGASAKIの開催方針

1.学校連携

2.体験会

3.大会開催

4.地域連携

5.市内PR

6.市外PR

8.環境整備

9.人材確保

10.資金調達

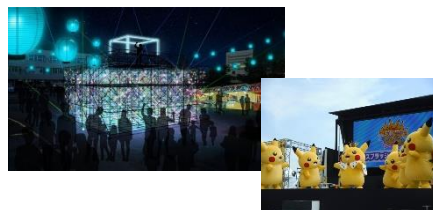
<開催概要案>

- 場所：ニューライフアリーナ龍ヶ崎メインアリーナ・サブアリーナ
- 時期：2/7,8,11の3日開催
- 参加者：市内外の小学3年生～中学3年生
- 出場費：有償予定
- 想定参加人数：約300人

ボルダリング愛好者や競技関心層以外の若者世代の呼び込みに向けた施策を実施することで大規模なにぎわいの場を実現し、「スポーツクライミングのまち龍ヶ崎」の魅力発信・浸透を図る

市内外の無関心層・若者世代の呼び込みに向けた工夫点

- ✓ 貴市特産品等を使ったメニューを提供する事業者を手配
→無関心層や多様な世代が会場に来場するきっかけを創出
- ✓ 音楽、キャラクター等を活用したプログラムを構築
→無関心層や若者世代がクライミング以外に楽しめる機会を創出



- ✓ 地元店舗と連携した大会限定商品を販売
→要協力可能な店舗の洗い出し・調整

クライミング文化の浸透に向けた工夫点

- ✓ 駅前をはじめ、まち全体に掲示できるポスター、チラシを作成・配布
→まち全体での一体感を創出
- ✓ 野口氏他、檜崎選手等のトップ選手によるサイン会や体験会等を実施
→スポーツクライミングへの興味や取組意欲を喚起



スポーツクライミングをきっかけとした地域産業振興に資する連携を図り、「スポーツクライミングのまち龍ヶ崎」としての関係人口の増加や事業推進に係る機運醸成を図ります

アクション【4】地域の名物等との連携

施策概要	にぎわいイベント等を活用した地域の名産品等のプロモーションやスポーツクライミングに関連した商品開発を促進します。
目的	大会・イベントでの出店により、地域経済の活性化を図るとともに魅力を発信します。また、スポーツクライミングと地域の名物を掛け合わせた商品開発等により相乗効果を生み出します。
関係者と役割	- 龍ヶ崎市 新規事業・取組立ち上げ支援 - 商工会・観光物産協会 市内事業者のニーズ把握協力 - 市内事業者 スポーツクライミングを活用した商品開発等
令和7年度以降 取り組む内容	- 商品等の事業開発意向を有する企業の発掘・ニーズの確認 - 事業開発に要する助成・支援内容の検討・構築

施策イメージ

- スポーツクライミングと名産品等が連携した地域プロモーションや、事業者とクライマーが連携した商品、スポーツクライミングとコラボした商品等の開発を促進します。

<「スポーツクライミングのまち龍ヶ崎」と連携した地域プロモーション例>

- ・ 大会等ににぎわいイベントにおける地元企業の出店
- ・ 大会開催に合わせた名産品の提供
- ・ コロケ型のホルドの作成
- ・ クライミングウォールへのまいりゅうの掲載

<スポーツクライミングを活用した新たな取組による産業振興例>

- ・ スポーツクライミンググッズの作成・販売等
- ・ 名産品や飲食店とスポーツクライミングコラボメニューの開発
- ・ スポーツクライミングと関連した商品開発の促進
- ・ 「スポーツクライミングのまち龍ヶ崎」観光周遊ツアー等コンテンツの造成
- ・ ふるさと納税返礼品の開発
- ・ ローカルスタートアップ支援制度等を活用した地域密着型事業の支援

収益・コスト

- ・ 収益：新規事業に関連する売り上げ
- ・ コスト：開発等支援金、プロモーション費用



スポーツライミングに関連した商品開発に向けたテーマ検討・関連事業者との調整を図り、プロモーションへの参画促進を図ります

地域連携方針

1.学校連携

2.体験会

3.大会開催

4.地域連携

5.市内PR

6.市外PR

8.環境整備

9.人材確保

10.資金調達

本事業で推進が期待されるアクションの方向性

- 地元有志企業を募り、スポーツライミングの活用に向けた意見交換を行い、スポーツライミングに関連した商品開発に向けたニーズ把握及び、本年度実施するにぎわいイベント等を活用した地域の名産品等のプロモーションへの参画促進を図る

検討ステップ

STEP.1 8月

- ・ 新事業創出に向けたテーマ・関与方法の洗い出し
(例)：スポーツライミング×食、ファッション

STEP.2 10～11月

- ・ 青年会議所/商工会の会員企業を巻き込み、事業アイデア発散に向けたワークショップの開催
(事前に募集チラシを作成・配布)

R7年度ゴール

- ・ 施策及び手法が完了/地域企業がプロモーションに参画

検討ポイント

【テーマの導出例提示】

- ✓ 市としてPRしたい特産品、事業者が新規事業として挑戦してみたいテーマ等を例として提示

【企業の事業開発意欲の醸成】

- ✓ ワークショップの実施により事業立案に向けた意向醸成に繋がる
- ✓ 2月の大会での限定商品発売に向けた準備期間を確保する

スポーツライミングに関連した事業アイデアを地元企業様が自発的に考える場を設計し、機運の醸成や事業アイデア実現のために必要な支援の把握を行います

ワークショップの開催概要（想定）

1.学校連携

2.体験会

3.大会開催

4.地域連携

5.市内PR

6.市外PR

8.環境整備

9.人材確保

10.資金調達

※時間は仮置きでございます

目的	✓ スポーツライミングに関連した商品開発に向けたニーズの把握 ✓ にぎわいイベント等を活用した地域の名産品等のプロモーションへの参画意欲促進
参加者	✓ 観光物産協会 ✓ 青年会議所/商工会の会員企業 ✓ 市内事業者 ✓ 協議会委員
実施時期	2025年10～11月ごろ
場所	調整中
開催形式	✓ 参加者を5～10名程度の小グループに分けて、意見交換※事務局にて進行

プログラム	全体説明
	15:30-15:35 ご挨拶・本日の進め方ご共有
	15:35-15:45 本事業のご紹介
	15:45-16:05 スポーツライミングとは？の説明（競技について、市場性、関連商品等）
	ワークショップ①
	16:05-16:25 ワークショップ①
	< 想定議題 >
	✓ スポーツライミングに関連した事業のアイデア
	16:25-16:30 各グループで議論されたことを共有
	ワークショップ②
	16:30-16:35 商品・サービス開発を促進する他事例の紹介
	16:35-16:50 意見交換②
	< 想定議題 >
	✓ ①で考えた事業アイデアを実現するために必要な支援
	16:50-16:55 各グループで議論されたことを共有
	16:55-17:00 クロージング

市内イベントや市民の生活に密着したプロモーションにより、市民がスポーツライミングを感じる機会を増やし、「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」としての認知度向上に努めます

アクション【5】市内に向けたプロモーション

施策概要	スポーツライミング推進のシンボルとして、市内活動やイベント、情報 発信等に活用可能なコンテンツを作成します。	施策イメージ	
目的	市内の「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」の認知度を高めるとともに、興味喚起を図り、本事業への参画意欲を高めます。	■ 市内のイベントや各発信媒体で活用可能な、スポーツライミングへの取組や事業内容が認識できるコンテンツを作成します。 ・ 名刺や特産品パッケージ等に掲載可能なロゴデザインの作成 ・ バナーのぼりの作成 ・ マスコットキャラクターの活用  ■ 市内の媒体を活用し「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」を発信します。 ・ 商業施設や事業者と連携し、ポスター・音声・映像等を活用した「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」のPR ・ 駅や市役所等人目のつくところにスポーツライミングを連想するアートやオブジェを設置 ・ 広報誌や民間の広報媒体による記事発信・情報発信 ・ 民間事業者による「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」コンテンツの活用促進	
関係者と役割	・ 龍ヶ崎市 コンテンツ開発及びブランディングに関する方針検討・実施 ・ コンテンツ作成事業者 コンテンツのデザイン、作成、発信 ・ 商工会・観光物産協会・青年会議所 コンテンツの作成連携及び市内展開の協力 ・ 官民集客施設（図書館・コミュニティセンター・観光物産センター・商業施設等） 作成物の設置協力	収益・コスト	
令和7年度以降 取り組む内容	・ 基本構想に基づいたプロモーション方針(費用対効果・実現性を踏まえた優先順位付け等)の策定 ・ 市内ニーズや活用方法を踏まえた、必要性の高いコンテンツの検討・作成 ・ 各種コンテンツ作成者の候補選定（龍ヶ崎市に縁のある人物・組織等） ・ 作成コンテンツの掲載・配架場所検討及び配架に係る協力依頼	・ コスト：デザイン費、作成費、発信費	

市外に向けて「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」としての認知度向上に資するコンテンツを作成し、市内の魅力とともに発信します

アクション【6】市外に向けたプロモーション

施策概要	「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」と市の魅力を組み合わせたコンテンツを作成し広く発信します。
目的	「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」として、本市ならではのコンテンツを作成・発信し、認知度を高めるとともに、本市のファン化や来訪意欲の創出につなげます。
関係者と役割	- 龍ヶ崎市 コンテンツ開発及びブランディングに関する方針検討・実施 - コンテンツ作成事業者 コンテンツのデザイン、作成、発信 - 商工会・観光物産協会・青年会議所 コンテンツの作成連携及び市外PRに適した手法の検討、助言 - 市内事業者・スポーツライミング関係団体等 コンテンツの作成協力
令和7年度以降 取り組む内容	- 基本構想に基づいたプロモーション方針の策定 - 市外ニーズや活用方法を踏まえた、必要性の高いコンテンツの検討・作成 - 各種コンテンツ作成者・発信者の選定 - 作成コンテンツの発信方法の検討及び発信に係る協力依頼
施策イメージ	
■ 若者世代に訴求するプロモーション案①～⑤を参考に実施内容を検討します。 <プロモーション案> ① トップ選手らによる、市やクライミングのプロモーションビデオの作成・発信 ② スポーツライミングのまち龍ヶ崎基本構想の内容をPR媒体等で発信 ③ SNSによる「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」コンテンツの発信 ④ プロスポーツ（鹿島アントラーズ等）と連携した発信 ⑤ 観光資源や交通機関等地域事業者と連携した発信 PV  市内外の若者が自発的に 拡散したくなるPRコンテンツ 作成 SNS  各種SNS媒体で情報発信 (トップ選手にも協力) リアル場  龍ヶ崎市内外の関係者 /関係企業とコラボしたPR 収益・コスト - コスト：デザイン費、作成費、発信費	

「スポーツクライミングのまち龍ヶ崎」の市内への浸透及び参画意欲の醸成を目指し、デジタル・アナログ両面でのタッチポイントを増やしたプロモーションに取り組みます

プロモーション全体像

1.学校連携

2.体験会

3.大会開催

4.地域連携

5.市内PR

6.市外PR

8.環境整備

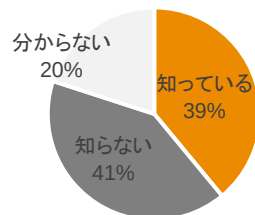
9.人材確保

10.資金調達

スポーツクライミングに関する市民の現状

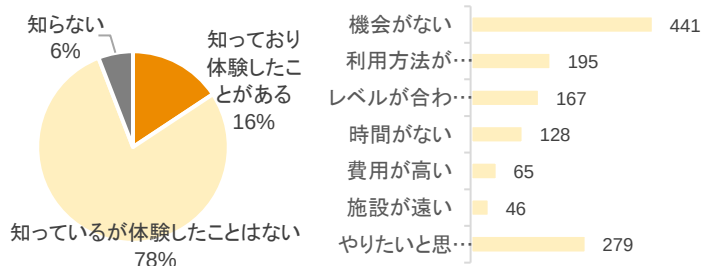
令和6年度に実施した市民アンケートの結果、
「スポーツクライミングのまち龍ヶ崎」の認知度は39%と低く、スポーツクライミングを体験したことがない人が84%と高い結果であった

Q.「スポーツクライミングのまち龍ヶ崎」を知っていますか？



「スポーツクライミングのまち龍ヶ崎」の認知率39%

Q.スポーツクライミングを知っていますか？または体験したことがありますか？体験したことがない理由は何ですか？



スポーツクライミングを知らない・体験したことがない人は84%、その理由は「機会がない」、「やりたいと思えない」

令和7年度プロモーションの方向性

大会等の大規模なイベントプロモーションと並行して、「スポーツクライミングのまち龍ヶ崎」の市民認知度向上を目的に、主にスポーツクライミングへの関心が低い層をターゲットに、「スポーツクライミングのまち龍ヶ崎」とのタッチポイントを多数設定する

プロモーションの目的

「スポーツクライミングのまち龍ヶ崎」の取組みを知る機会とスポーツクライミングに触れる機会を増加させ、
スポーツクライミングへの愛着と参画意欲の醸成を図る

ターゲット



市民等

- ・「スポーツクライミングのまち龍ヶ崎」を知らない
- ・40代以上かつクライミング経験がない
(アンケートを踏まえてターゲットとして選定)

プロモーション施策

「スポーツクライミングのまち龍ヶ崎」を“知る”コンテンツ

➤ スポーツクライミングを認知する

ロゴ

ブランディング
動画

横断幕/のぼり

市のSNS

オリンピックの
SNS

➤ スポーツクライミングのまち龍ヶ崎を詳しく知る

市のHP

市の広報

スポーツクライミングを“体験する”コンテンツ

➤ スポーツクライミングを体験する

オブジェ

懸垂ラック

体験会

➤ スポーツクライミングを観戦する

大規模大会

関連イベント

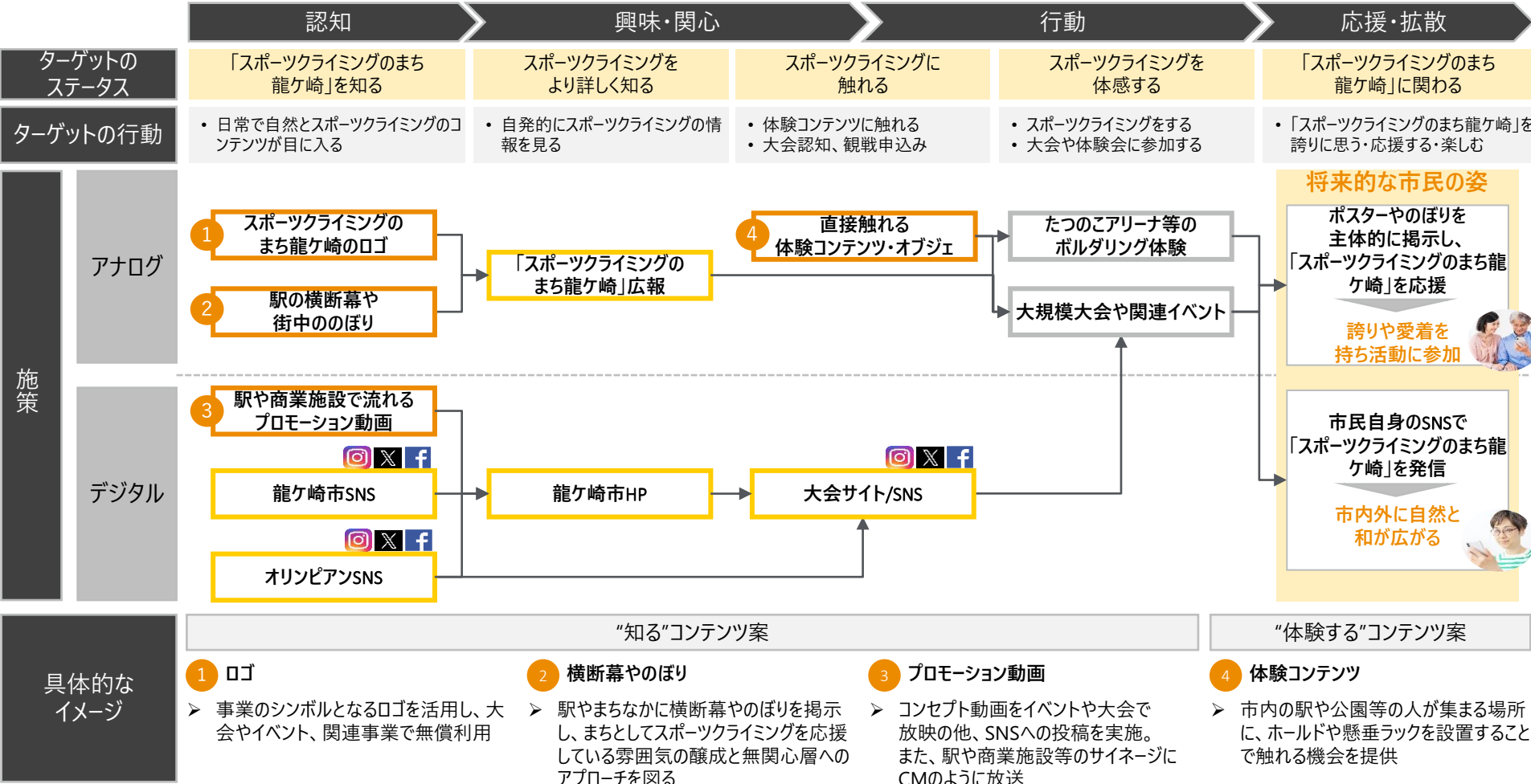
凡例： 新規PR施策 既存PR施策 PR施策以外

市民の「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」の認知、スポーツライミングへの興味関心の醸成に向け、生活動線に溶け込む形でプロモーション施策を実施します

プロモーション施策による カスタマージャーニー

- 1.学校連携
- 2.体験会
- 3.大会開催
- 4.地域連携
- 5.市内PR
- 6.市外PR
- 8.環境整備
- 9.人材確保
- 10.資金調達

凡例：新規PR施策 既存PR施策 PR施策以外



プロモーション動画は市民巻き込み型で作成し、「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」に対する当事者意識を醸成します

プロモーション動画作成方針

1.学校連携

2.体験会

3.大会開催

4.地域連携

5.市内PR

6.市外PR

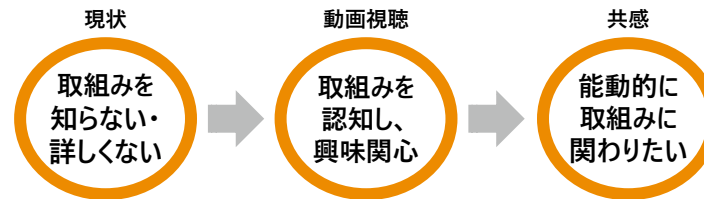
8.環境整備

9.人材確保

10.資金調達

「プロモーション動画」の作成方針

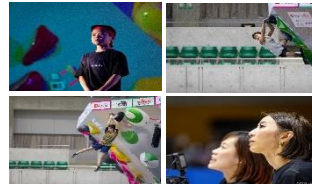
映像を見た人は「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」を認知し、興味関心を高め、応援したい・関わりたいと思う



■ 動画コンセプト

龍ヶ崎市×スポーツライミングの未来

野口氏やスポーツライミングに取り組む子供たち、市内の高齢者、市外在住者等に出演いただき、スポーツライミングによるまちづくりの未来像を描く→現状の無関心層を巻き込んだ構成



■ 動画の活用方法

多くの人が集まる大会やイベント、商業施設や駅等での放映の他、市長や野口氏の講演等での活用を想定

チャンネル	ターゲット
大会・イベント、駅・商業施設等	市民、市外在住者
各種SNS、HP等のWEB	若者、関心の高い市民
講演等	市外在住者

■ 作成スケジュール（予定）



※龍ヶ崎市にて作成中のロゴを動画に含める場合、ロゴの完成時期次第で上記スケジュールが後ろ倒しとなる可能性があります

体験コンテンツの作成では、市民、来街者へのPRとしてインパクトがあり、かつ実際に触れて体験できることをコンセプトに制作したのち、設置に向けた調整を実施します

体験コンテンツ・オブジェ作成方針

1.学校連携	2.体験会	3.大会開催	4.地域連携	5.市内PR	6.市外PR	8.環境整備	9.人材確保	10.資金調達
--------	-------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	---------

体験コンテンツ・オブジェの作成方針

「スポーツクライミングのまち龍ヶ崎」の市内浸透に向けて、
“興味・関心”を引き、実際に触れられるコンテンツを設置



「スポーツクライミングのまち龍ヶ崎」の認知機会の拡大及びス
ポーツクライミングの体験意欲を醸成

■ 体験コンテンツ作成に向けたステップ

弊社にて作成したコンテンツ案を基に、分科会にて合意形成を図ることで、関連するステークホルダーの巻き込みにつなげます

	8月	9-10月	11-3月
フェーズ	実施方針検討	内容確定・発注	設置
実施内容	体験コンテンツの内容合意 ➢ 作成物検討 (コンテンツ案作成済み)	分科会にて合意形成 ➢ コンテンツ決定 ➢ 作成業者選定 ➢ 設置場所検討 (駅、商業施設、公園等)	コンテンツ設置 に向けた活動 ➢ 設置場所関係者 との最終調整

コンテンツ案

①にぎわいの場へのホールド設置

市内の駅や公園等の人が集まる場所に、
ホールドを設置し、触れられる機会を提供する



②スポーツクライマーが壁を登る様子を模した大規模な装飾

玄関口となる駅壁にスポーツクライマーが壁を登る様子を模し
たインパクトのある大きな装飾を施し、来街者の注目を得る



③スポーツクライミングを体感できる懸垂ラック

人の集まる場所に設置することで、スポー
ツクライミングの技術と体力を体感する機会を提供する



「スポーツクライミングのまち龍ヶ崎」として、スポーツクライミングを身近に感じ、親しみを持つ環境づくり、選手育成拠点の整備を検討するとともに、競技団体の組織化を目指します

アクション【8】スポーツクライミング環境整備

施策概要	「スポーツクライミングのまち龍ヶ崎」に必要な環境整備の実現性を検討します。また、本市におけるスポーツクライミング競技団体の組織化を目指します。	施策イメージ	
目的	「スポーツクライミングのまち龍ヶ崎」として、事業を展開する上で、求められる拠点や体制を様々な視点から検証し、持続可能な環境整備の方向性を検討します。	■ 市民がスポーツクライミングに親しみを持てるような既存施設の活用促進及び市内の環境整備に向けた検討を行います。 （公園等に遊具として設置・学校内の肋木として設置等） ■ 本市におけるスポーツクライミング競技団体の組織化の検討・支援を行います。 （(仮称)龍ヶ崎市スポーツクライミング協会の設立等） ■ スポーツクライミングの普及及び選手育成に資する環境の整備について、公設・民設双方の実現可能性を踏まえた検討を行います。 （一定の壁の高さを有する中上級者向けの屋内クライミング施設、商業施設と連携したボルダリング施設等） ＜求められる環境＞ スポーツクライミングに親しむ環境 スポーツクライミングの練習ができる環境 スポーツクライミングの大規模大会ができる環境 現状施設なし ＜取組の方向性＞ たつこアリーナ等が存在も、遊具や学校への配置等によるさらなる環境の拡大を検討 大型のウォールを有する施設の設置に向けて、民間の誘致や助言・助成等の支援を検討 中長期的な設置に向けた機運の醸成及び、民間の誘致や設計・助成等の支援を検討	
関係者と役割	・ 龍ヶ崎市 拠点施設の検討、整備手法、補助制度の調査、庁内調整、公園等への遊具設置に向けた検討、財源確保 ・ 民間事業者 施設の建設等・運営に向けた検討、資金調達	収益・コスト	
令和7年度以降取り組む内容	・ コンセプトに応じた環境整備の在り方、整備手法の検討（設計・要件の整理、民間事業者との連携・調整、公園や学校への設置等） ・ 補助メニュー等の財源確保策の検討 ・ 新規拠点整備の在り方の検討	・ 収益：施設利用料 ・ コスト：施設建設費、維持管理運営費	

「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」を実現する施設整備の方針について検討を進めるべく、各施設規模に応じた要件及び事業方式を整理し、取り組みの方向性を整理します

環境整備方針

1.学校連携

2.体験会

3.大会開催

4.地域連携

5.市内PR

6.市外PR

8.環境整備

9.人材確保

10.資金調達

本年度のゴール

- スポーツライミングの普及及び選手育成に資する環境の整備について施設規模に応じた取組の方向性について合意する

環境整備方針

- ① 基本構想に則り、コンセプトに応じた環境整備の在り方、整備手法の検討を進める
(要件の整理、民間事業者との連携・調整、公園や学校への設置等)
- ② 官民連携手法を整理・検討し、**官民連携での「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」に資する拠点の創出**に向けた検討を進める

事務局を中心とした取り組み内容

■ 施設規模ごとに取り組みの方向性を整理する

①施設規模ごとに応じた要件の整理

- ・各施設規模感に応じた想定スペックと概算でのコストシミュレーションを実施する

②事業方式の検討・整理

- ・事業方式を整理して、民間参入の可能性を検討する(官民連携スキーム)
- ・民間事業者への参入要件のヒアリングを実施する

③活用可能な補助金の整理

- ・施設設置に向けて、活用可能な補助金を整理する

アウトプットイメージ

- ・施設概要・基本要件
- ・施設コンセプト・機能
- ・想定スペック
- ・収支シミュレーション

アウトプットイメージ

- ・官民連携手法の整理
- ・民間事業者ヒアリング

アウトプットイメージ

- ・活用可能補助金リスト

国の制度である地域おこし協力隊等を活用し、「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」の持続的な推進に求められる人材を確保します

アクション【9】人材確保

施策概要	国の制度等を活用し、「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」の持続的な推進に求められる人材を確保します。	施策イメージ ■ 持続可能な「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」の推進に必要な人材を地域おこし協力隊等の制度を活用して確保します。 < 求められる人材イメージ > スポーツライミングのまち龍ヶ崎を推進する上で次の要素を持つ人材が求められます。 ①スポーツライミングの指導 スポーツライミングの体験から練習までを指導し、選手の育成ができる人材 ②スポーツライミング大会誘致・開催推進 大会の誘致や開催にあたって必要な取組を推進できる人材 ③魅力発信 スポーツライミングの魅力や市内の魅力を磨き・発信が可能な人材 ④市内関係者との調整・取りまとめ 本事業推進にあたって関連する関係者との調整や連携を図る人材 ⑤トップ選手 選手として本事業推進に積極的に協力しつつ、国内外の大会に出場する人材 収益・コスト ・収益：特別交付税による財政措置 ・コスト：人材募集・受け入れにかかる経費
目的	「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」事業の推進に必要となる様々な特徴を持つ人材を確保し、持続可能な運営体制を整備します。	
関係者と役割	・ 龍ヶ崎市 必要人材要件の整理、人材確保に向けた関係課との調整 ・ スポーツライミング関連団体等 地域おこし協力隊等の確保に向けた連携	
令和7年度以降取り組む内容	・ 人材受け入れに係る調整 ・ 募集要件を整理し、スポーツライミング関係団体等と連携し、人材を確保 ・ 受け入れ後の業務及び連携する関係者の抽出・合意形成	

学校連携時の指導や環境整備後の施設管理等を担う人材の確保に向け、候補人材と関与形態を検討・整理します

人材確保方針

1.学校連携

2.体験会

3.大会開催

4.地域連携

5.市内PR

6.市外PR

8.環境整備

9.人材確保

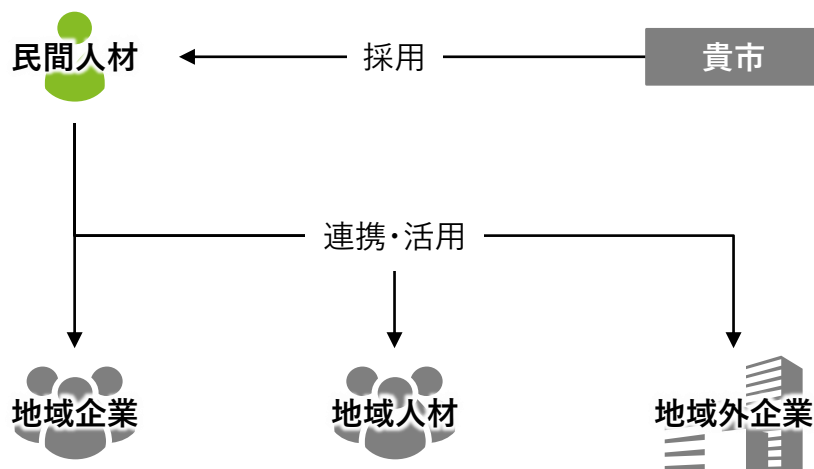
10.資金調達

本事業で推進が期待されるアクションの方向性

- 野口氏のリレーションを活かし、指導者や事業推進人材として関与可能なプレイヤー候補とその関与形態を整理する

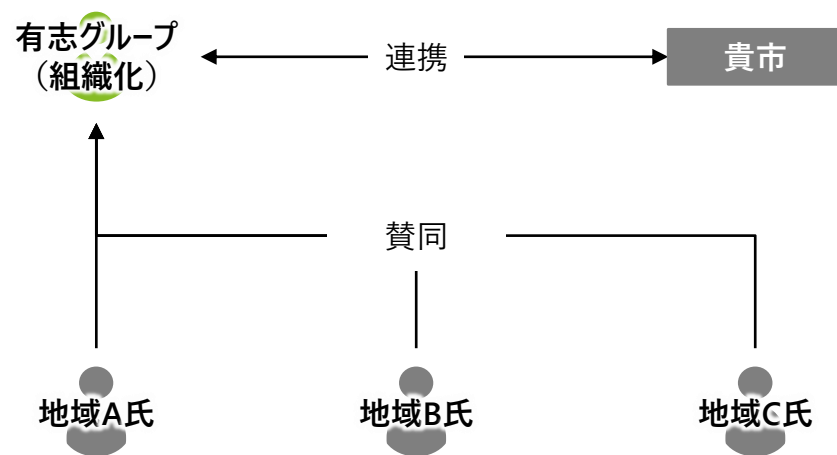
民間人材主導型

地域おこし起業人や地域おこし協力隊などの制度を活用し、ノウハウを持つ民間人材を採用し、それら人材が事業推進をリード



地域団体組成・主導型

有志グループでの任意団体の組成や地域団体に事業移管し、それら地域団体が事業推進をリード



国の制度等を活用し、「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」としての事業推進に係る財源の確保を目指します

アクション【10】資金調達

1.学校連携

2.体験会

3.大会開催

4.地域連携

5.市内PR

6.市外PR

8.環境整備

9.人材確保

10.資金調達

施策概要	「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」の持続可能な事業運営に向けた財源確保手法を整理します。
目的	「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」事業の持続可能な運営に向け、財源の確保に努めます。
関係者と役割	- 龍ヶ崎市 協賛企業の抽出・調整、寄付等メニューの検討、資金の確保、補助金や助成金の申請、企業版ふるさと納税等の受け入れ、庁内調整 - 民間事業者 企業版ふるさと納税、協賛金、寄付等の実施
令和7年度以降 取り組む内容	- 事業推進に係る資金調達(補助金・助成金等)の整理・調整・申請 - 協賛企業等のPR手法の検討

施策イメージ

■ 「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」としての事業推進に係る資金を確保します。

<事業全般>

- 企業版ふるさと納税・ふるさと納税等の活用による財源獲得
- 事業者・個人からの寄付

<大会誘致>

大規模大会（ワールドカップ・ジャパンカップ等）

- 企業協賛金・助成金 等
- 参加料・観戦入場チケット 等

中・小規模大会（例：ユース大会・市民大会等）

- 協賛金、寄付金、参加料 等

<環境整備>

- 拠点整備交付金や、スポーツ振興くじ助成
- 企業版ふるさと納税の活用
- PFI等の活用検討



収益・コスト

- 収益：資金調達による歳入
- コスト：各アクションの実行に伴う事業費

継続的なまちづくりを行う資金面・体制面の整備として、本年度は交付金・補助金以外の資金調達方法の確立を行いながら、運営体制の主となる組織作りを推進します

資金調達方針

1.学校連携

2.体験会

3.大会開催

4.地域連携

5.市内PR

6.市外PR

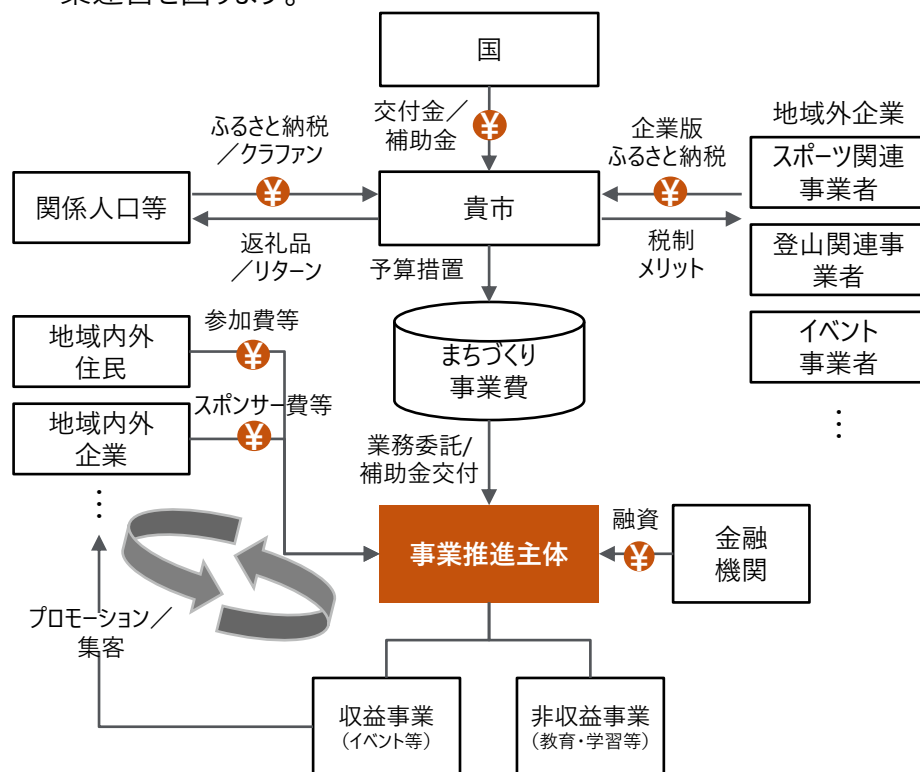
8.環境整備

9.人材確保

10.資金調達

持続可能な事業運営スキーム（素案）

- 交付金・補助金以外の資金調達基盤を作ること、持続可能な事業運営を図ります。



資金調達方法と実施内容

- 継続的な資金確保に向けて、まずは本事業を対象とした資金調達を行い、資金確保に向けた型を構築します。

交付金・補助金

- 国の交付金等のみならず、toto等が提供している助成金なども視野に入れて、提案・申請の検討・実施
- 環境整備等各事業単位で活用できる補助金について別途リスト化・申請方針の検討

スポンサー

- 大会やイベントの開催時、またはスポーツライミングのまちづくりに共感・賛同してくれる企業を獲得

企業版ふるさと納税

- スポーツライミングのまちづくりに共感・賛同してくれる寄附企業とのマッチング・寄附依頼
- 次年度以降の大会での活用も見据えた基金化運用

クラウドファンディング・ふるさと納税

- 大規模大会の誘致やスポーツライミング施設の設立等まちにとって重要な事業に対しクラウドファンディングを実施
- 返礼品にスポーツライミングを活用し、個人のふるさと納税の納付拡大を促進

3.各分科会のスケジュール・メンバーの共有

官民連携調整会議は全3回の開催を予定しております

官民連携調整会議運営の想定アジェンダ

	本日		
会議名	第1回	第2回	第3回
候補日時	2025年8月18日	2025年11月中旬	2026年3月上旬
目的	✓ 本会議・分科会の位置づけ共有 ✓ 年度内スケジュールを共有	✓ 各分科会における討議内容の報告	✓ 今年度の活動実績共有 ✓ 次年度の調整会議、個別事業（案）の実施方針共有
想定アジェンダ	✓ 今年度事業の背景・目的の共有 ✓ 各事業の実施方針の共有 ✓ 調整会議・各分科会のスケジュール・メンバーの共有	✓ 11月実施結果の報告 ✓ 学校連携実施内容案の共有 ✓ 大会コンテンツ調整状況共有 ✓ 環境整備事業の調査状況共有	✓ 各事業成果の共有 ✓ 各事業の次年度方案の共有 ✓ 次年度の会議体運営方針の共有



分科会

官民連携調整会議で決定した方針の具体案を検討・共有
※討議内容は各事業にて記載

官民連携調整会議は以下19組織のメンバーで構成されます。分科会については、原則として「○」が付いているテーマへの参加をご依頼いたします

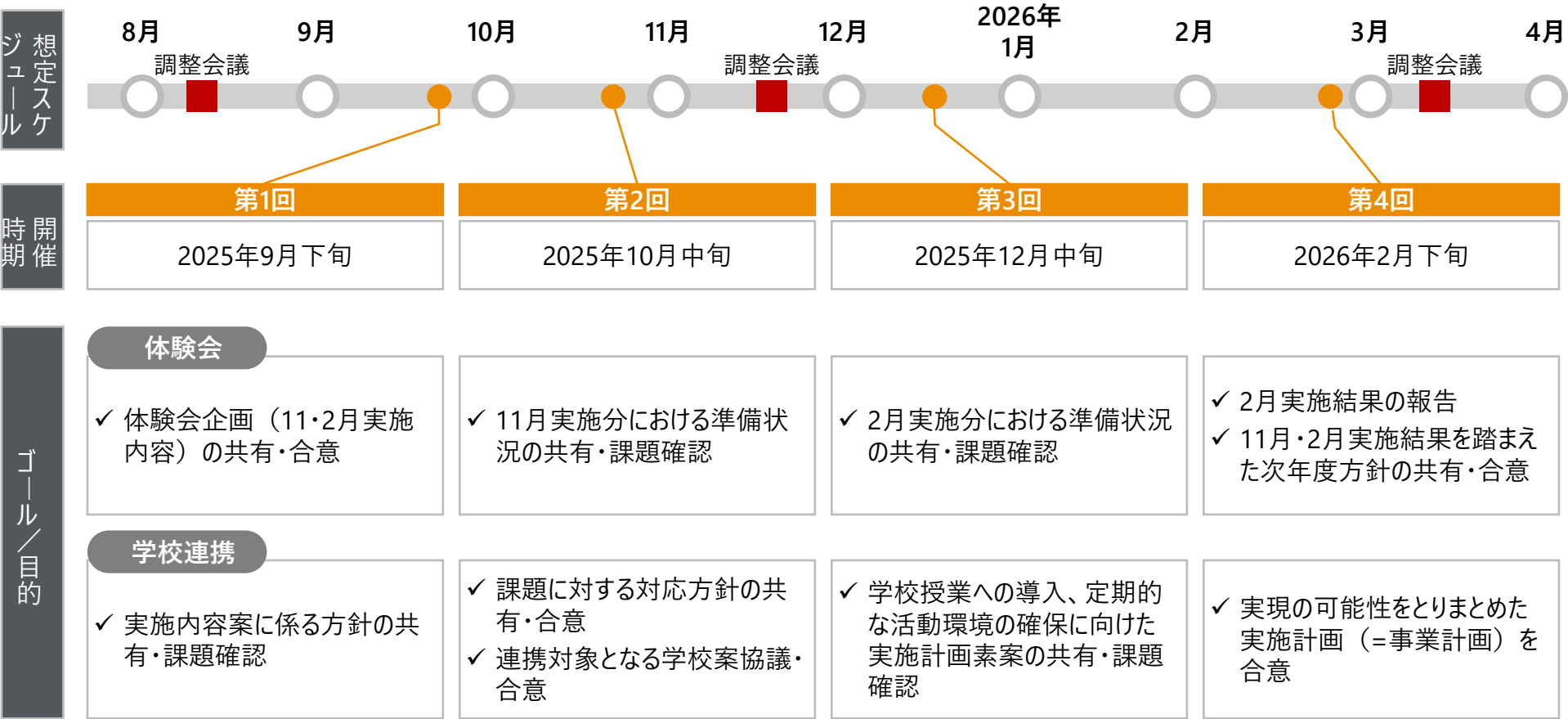
官民連携調整会議／分科会の参加者一覧

#	カテゴリ	連携調整会議委員	分科会テーマ			
			教育・学習	プロモーション	賑わい創出	環境整備
1	官	龍ヶ崎市総合政策部：次長		○	必要に応じて適宜参集	
2	官	龍ヶ崎市総務部：次長				
3	官	龍ヶ崎市福祉部：次長	○			
4	官	龍ヶ崎市健康スポーツ部：次長	○	○		
5	官	龍ヶ崎市市民経済部：次長		○		
6	官	龍ヶ崎市都市整備部：次長		○		
7	官	龍ヶ崎市教育委員会事務局：次長	○			
8	学	流通経済大学	○			
9	学	龍ヶ崎市学校長会	○			
10	産	龍ヶ崎市商工会		○		
11	産	龍ヶ崎市観光物産協会		○		
12	労	(一社)竜ヶ崎青年会議所		○		
13	産	たつのこまちづくりパートナーズ	○			
14	産	NPO法人クラブ・ドラゴンズ	○			
15	金	(株)常陽銀行				
16	産	関東鉄道(株)		○		
17	産	(公社)茨城県山岳連盟	○			
18	産	(株)スポーツビズ	○	○		
19	産	AKIYO's COMPANY(株)	○	○		

※事業進捗に応じて、分科会の開催回数、参加メンバーは調整いたします

教育・学習事業の分科会におけるゴールは以下の想定です。 事業進捗に応じて、分科会の開催回数、参加メンバーは調整となります

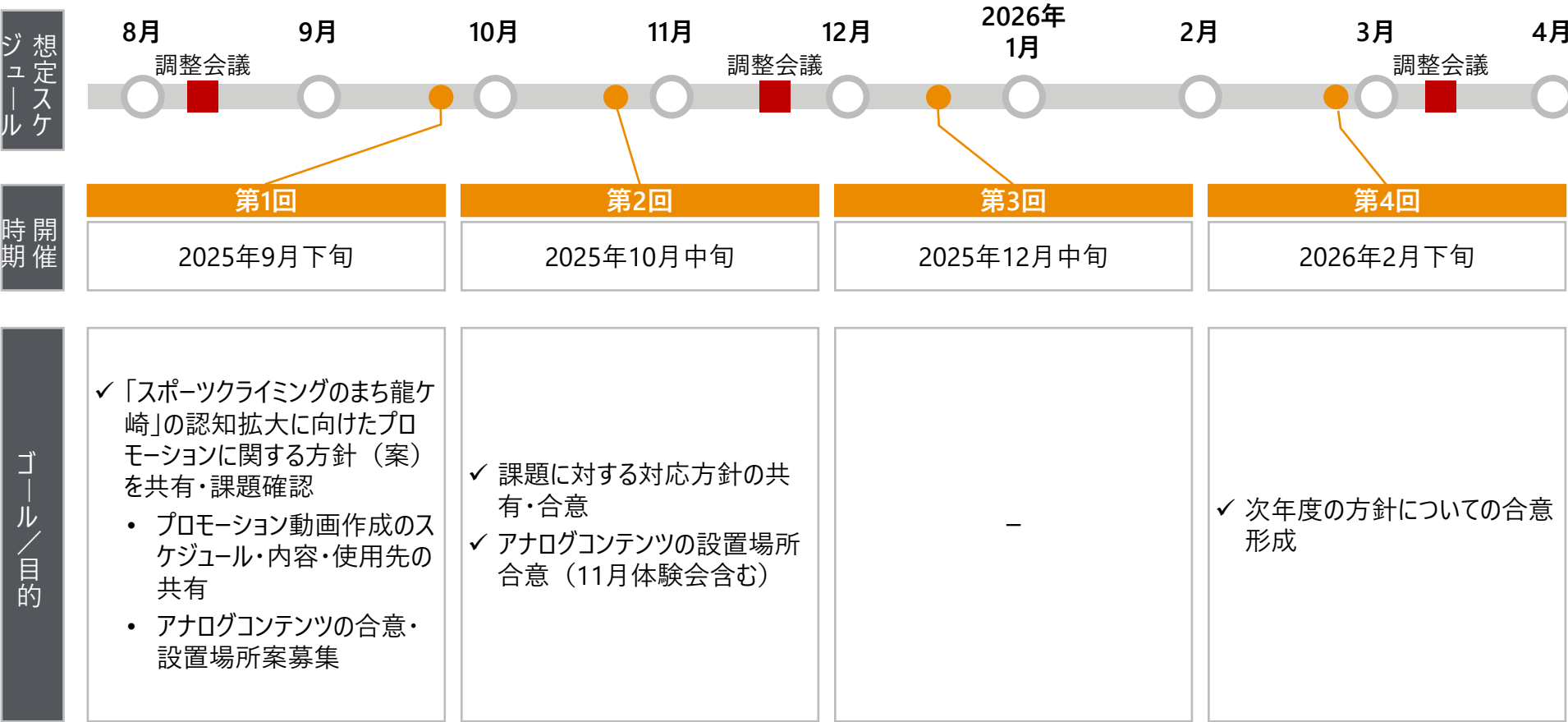
教育・学習事業の分科会におけるゴール



※検討状況に応じて、上記以外のタイミングで関係者を招いた会議を実施する場合がございます。
その際は、事務局より会議開催依頼をご連絡させていただきます

プロモーション事業の分科会におけるゴールは以下の想定です。
 事業進捗に応じて、分科会の開催回数、参加メンバーは調整となります

プロモーション事業の分科会におけるゴール



※検討状況に応じて、上記以外のタイミングで関係者を招いた会議を実施する場合がございます。
 その際は、事務局より会議開催依頼をご連絡させていただきます

賑わい創出事業は市と委託事業者、再委託事業者を中心に検討を進めますが、全体に関わる事業につき、各調整会議で検討状況を報告し、必要に応じて分科会を開催します

調整会議における賑わい創出事業の共有事項



※各調整会議で検討状況を報告しつつ、必要に応じて関係者を招いた分科会を開催とする

環境整備事業については、委託事業者による調査が中心となるため、各調整会議にて調査結果を共有し、整理した調査結果と次年度以降の提案を成果物としてお示します

調整会議における環境整備事業の共有事項



※各調整会議で検討状況を報告しつつ、必要に応じて関係者を招いた分科会を開催とする